

# 求人広告件数、11月26.5%増

人材サービス会社でつくる全国求人情報協会（全求協、東京・千代田）がまとめた2021年11月の求人広告掲載件数（職種別、週平均）は20年11月比26.5%増の109万2349件だった。新型コロナウイルス禍による営業自粛からの回復を目指す飲食業関連などが増え、1年8カ月ぶりに100万件を超えた。ただ19年11月比では3割少なく、人材需要の復調は道半ばだ。

「足元は飲食業の求人が増えている。職種別で「調理」が前年同月比51.5%増の10万940件、「給仕」が同45.6%増の13万3291件だった。緊急事態宣言の解除による営業再開のほか、居酒屋を中心に年末年始の繁忙期を見据えた人員補充の動きがみられた。

「物流倉庫の軽作業などを含む「運搬・清掃・包装等」は同21.3%増の14万2635件。「販売」は同10.3%増の17万3678件だった。お歳暮や年末商戦、年始のセールなどへの対応として採用活動が活発になった。派遣領域の求人広告では「人が集まらず、同じ求人内容を複数の派遣会社が募集することで広告数が増えている」（エン・ジャパンの中島純氏）。

11月の全体の件数はコロナ禍以降で最少だった20年5月（62万6328件）と比べると7割多い。